

2022年8月31日

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ

京都駅で Wi-Fi アクセスポイントを活用した 広告視認者データの計測を開始

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 野中 雅志)は、駅のご利用者の特性に合わせたより効果的な情報発信のため、京都駅のデジタルサイネージに Wi-Fi アクセスポイントを設置し、2022年9月1日より広告媒体周辺の通行者データの計測を開始いたします。

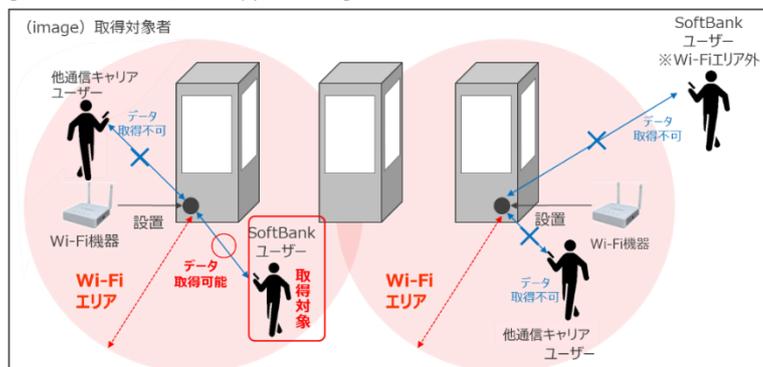
京都駅は、国内有数の観光都市の拠点に位置し、1日の平均乗車人員数が約12万人と、JR西日本エリアの中でも大阪駅に次ぐご利用者数を誇り、さらに近鉄や京都市営地下鉄、新幹線とも接続することで、多くのご利用者が通行する一大ターミナル駅です。

この度、京都駅の中でも特に通行者数の多い改札付近の3エリア(橋上西口自由通路・中央口コンコース・地下東口コンコース)に Wi-Fi アクセスポイントを設置して周辺の通行者の統計データを分析することで、各エリアに設置された交通広告媒体の広告効果を可視化し、性年代別構成比などに基づき、より効果的に交通広告をご活用いただけるようデータ整備を進めて参ります。なお、この取り組みは、2020年9月より大阪駅で実施している、駅構内の広告媒体周辺通行者データ提供に続くものとなります。

JR 西日本コミュニケーションズは、今後も、多くのお客様がご利用になる駅や電車内において、ご利用者の特性にあわせた情報発信を行うことにより、体験価値の向上につながる取り組みを行ってまいります。

※Wi-Fi アクセスポイントのデータの活用においては、個人が特定できないようソフトバンク株式会社により統計化されたデータを、シナラシステムズジャパン株式会社が同社の位置情報マーケティングサービス Venue Vitalics®を用いて、分析します。当社はシナラシステムズジャパン株式会社から統計情報の提供を受けます。

【Wi-Fi アクセスポイントデータ計測イメージ】



【京都駅 中央ロコンコース】

